

	～約1歳	約1歳～
生理的基盤	<ul style="list-style-type: none"> ○外界交流の生理的基盤の状態 ○睡眠－覚醒のリズム・活動 ○諸感覚の受容 ○姿勢動作・筋緊張状態など 	
対人関係	<ul style="list-style-type: none"> ①快－不快 機嫌－不機嫌 感情表現の仕方 ②支援者の働きかけに対する反応、情動交流、指示や意図の理解など。 ③本人からの能動的な働きかけ（甘え、要求や拒否の表現など） ④他利用者への意識、関わり ⑤家族への意識、関わり 	<ul style="list-style-type: none"> ①支援者との関係（関わりの求め方など） ②他の利用者や、仲間集団に対する意識、関わり方。 ③コミュニケーション（表現方法、言葉の理解、応答性など） ④自我形成（自己主張の仕方、自分の場や物、役割など自己領域の意識など） ⑤ 家族へとの関係
物の操作・認知	<ul style="list-style-type: none"> ①「見え」「聞こえ」など外界からの刺激の受け止めの状況。 ② 目と手の協応や手の機能 ③ 興味の対象、操作の仕方（遊びの様子） ④ 道具の理解、使用の芽生え 	<ul style="list-style-type: none"> ①本人の興味の対象や操作の仕方、遊びなど。 ②作業や生活場面での道具の使いこなし ③イメージの形成（粘土製作や劇などの表現活動や遊びの中での「みため・つもり」行動など）
見通しの力	<ul style="list-style-type: none"> ①働きかけに対する期待感・予期の様子。 ②その場で起こること、これから起こることへの理解（場のわかり） ③志向性・目的的な移動の様子（好みの場所、物を求めての動き、誘導への応じ方など） 	<ul style="list-style-type: none"> ①日課のこなし、生活場面での志向性、目的的な行動・見通し行動（週課・行事など先の事柄についての見通しの持ち方含む） ②作業など活動場面での見通しの持ち方、こなし方など。 ③体験の内面化（体験したことの記憶、そのことについての表現など）
固有の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○障害特性から留意すべき課題（持っている力を発揮できるための環境整備） 	